

日置電機株式会社 様

SaaS型ファイルサーバで本社・海外拠点間の情報共有を実現
営業部からスモールスタートし開発部、経理課へも展開

「『クラウドファイルサーバー』は、シンプルながら必要な機能を十分に備えています。Webブラウザ画面上で社内ファイルサーバと同様の感覚で使える点を高く評価しました」

大野 俊子 氏

日置電機株式会社 外国営業部 業務改革推進担当課長



課題

■ メールベースによる本社・海外の販売拠点間等の情報共有を、サーバの同一ファイル上で行いたい

■ セキュアな環境においてファイル共有を実現したい

効果

■ SaaS型サービスを利用し、本社・海外拠点双方からダイレクトにファイルを上書き・更新が可能に

■ 国内データセンター利用、アクセス制限、データの自動暗号化で情報漏洩、不正アクセス対策は万全

SaaS	PaaS	IaaS	DaaS	Network	プライベートクラウド
ソリューション					
FUJITSU Cloud クラウドファイルサーバー					
クラウドを選んだ理由					
国内データセンターのセキュリティの高さ					
採用のポイント					
操作がシンプル。必要な機能を備え、低コスト					

概要

グローバルな販売網構築を進める日置電機株式会社様は、本社と海外拠点間における営業情報の共有環境改善に着手。重要データをメール添付でやり取りする作業を解消する方法としてSaaS型ファイルサーバサービスの利用を検討し、シンプルかつ低コストでありながら、必要機能を十分に備えた「FUJITSU Cloud クラウドファイルサーバー」を採用。直感的に使える操作性が評価され、社内の複数部門が順次利用を開始。必要なときに、必要な分だけ柔軟に拡張

利用できるSaaS型サービスのメリットが活かされている。

海外拠点と本社間のデータのやり取りを双方向ダイレクトに

事業のグローバル化を推し進める同社は、ユーザーニーズや販売動向の把握のため、海外の販売拠点と本社間の情報をリアルタイムで共有する必要があった。しかし実際の情報のやり取りは、サーバの機能の制約からダウンロードのみで、1手間、2手間をかけないと情報共

有ができなかった。同社外国営業部業務改革推進担当課長の野野俊子氏はこう説明する。「海外拠点には、最新データをメールで本社に送信してもらい、そのデータを本社のサーバに上書きしていました。この方法では、サーバへの上書き中に社内の第三者が当該ファイルを上書き・更新しても気づかないということがあり得ます。こうした間違いを完全に排しつつ、海外拠点側から直接アップロードする方法が求められていたのです」。



武田 進氏
総務部 情報システム課長



川村 和哉氏
技術部 技術 7 課

会社概要 日置電機株式会社 様
所在地 | 〒386-1192長野県上田市小泉81
代表者 | 代表取締役社長 町田 正信
設立 | 1952年（創業 1935年）
従業員数 | 709名（2013年6月30日現在、
HIOKIグループ全体）
事業内容 | 電気計測器の開発、生産、販売・
サービス
URL | <http://www.hioki.co.jp>

必要な機能を備え、社内サーバ感覚で利用できる点を評価

大野氏はサービス選定過程を振り返り、こう語る。「トライアル利用してみると、高機能なサービスは、設定、操作、管理が複雑でした。ここまでは要らないという機能も少なくありません。それに対して富士通の『クラウドファイルサーバー』は、Webブラウザ画面上で社内のファイルサーバと同様の感覚で操作できてわかりやすく、それでいて必要な機能を十分に備えているのです。めったに使わない機能のために10倍のコストをかけるべきかの観点で判断し、富士通に決めました」。また総務部情報システム課長の武田氏はセキュリティ面をこう評価する。「堅

牢なセキュリティ環境の国内データセンターで運用している実績に安心感を持ち、クラウドサービスのメリットを再認識しました。また『クラウドファイルサーバー』では、アップロードするファイルは自動的に暗号化されますから、営業データを安心してやり取りすることができます」。

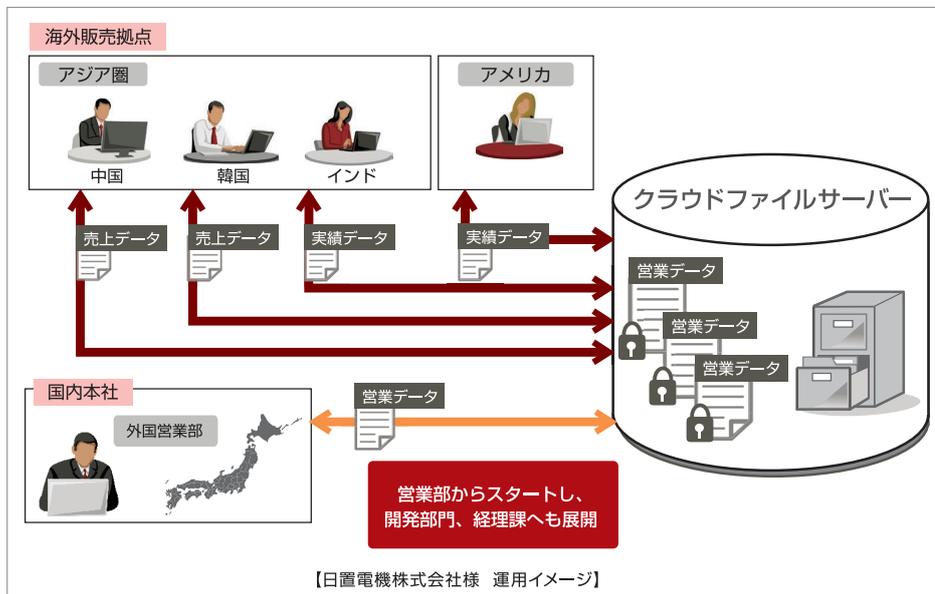
営業部の利用から始まり 開発部、経理課へと横展開

同社外国営業部でのサービス利用開始は2013年7月。その後、連絡案件の情報共有など業務連絡での利用も始まっている。全ユーザーが閲覧・書き込みできるフォルダーを作成するなど独自の工夫もされている。さらに本社・海外拠点間だけでなく、開発部門と協力企

業・研究機関間との情報共有にも活用。同社技術部技術7課の川村和哉氏はこう語る。「たとえば協力体制を組む企業と仕様書を共有する場合、ZIPファイルに圧縮しメールに添付してやり取りしており、メールの管理がたいへんでした。富士通の『クラウドファイルサーバー』を利用し始め、わずらわしいメール管理から解放され、本来の業務に集中できるようになりました」。

武田氏は、情報システム課から見た導入効果について、こう述べている。「実は、営業部、開発部門に続いて経理課からも利用したいとの声が上がっています。こうした横展開が始まったのは、マニュアルを読まなくても操作できるわかりやすさが、社内の潜在的な情報共有のニーズにマッチしたのだと考えています。また、ユーザーやデータ容量の増加に合わせた柔軟な拡張が可能で、コストを最小限に抑えられる点はクラウドならではのメリットとして享受しています」。

日置電機株式会社様は、自社の特性と環境にマッチした「クラウドファイルサーバー」の活用で、販売、開発における情報共有を盤石なものとし、さらなる躍進を続けている。



●記載されている内容については、改善などのため予告なしに変更する場合がありますのでご了承ください。（取材日：2013年10月）

製品・サービスについてのお問い合わせは

富士通コンタクトライン（総合窓口） **0120-933-200**
 受付時間 9:00～17:30（土・日・祝日・年末年始を除く）

富士通株式会社 〒105-7123 東京都港区東新橋 1-5-2 汐留シティセンター